

経営比較分析表（令和2年度決算）

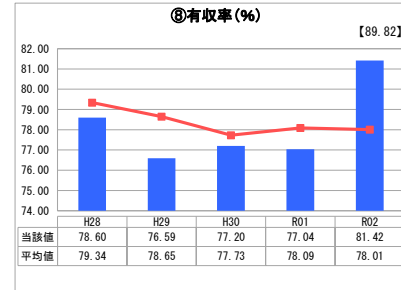
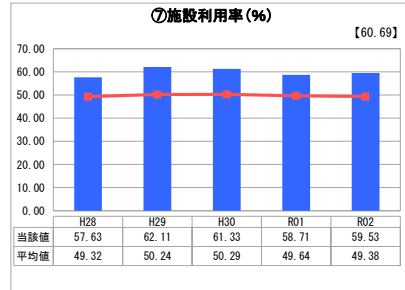
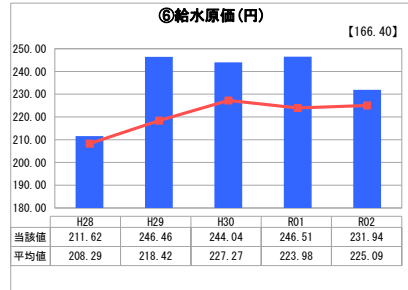
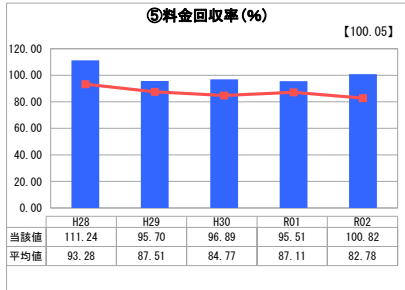
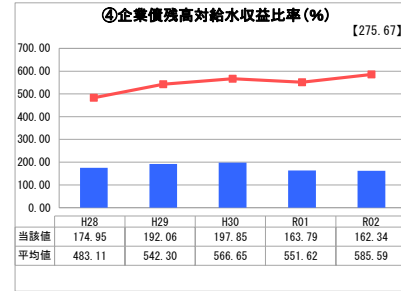
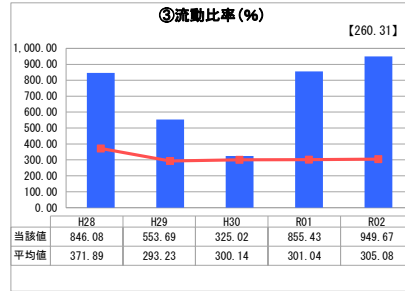
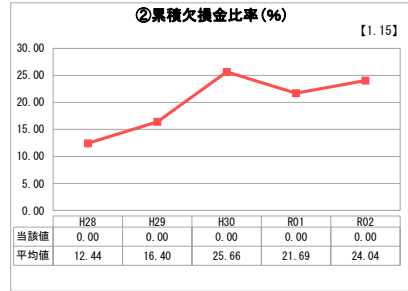
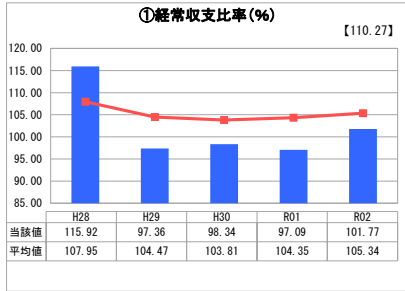
福島県 国見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	84.44	98.80	4,603	

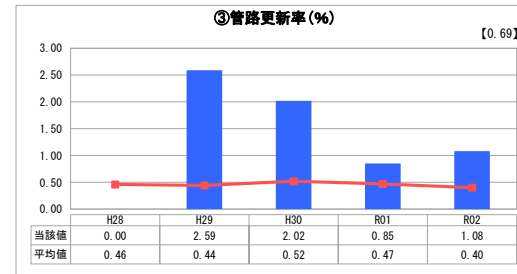
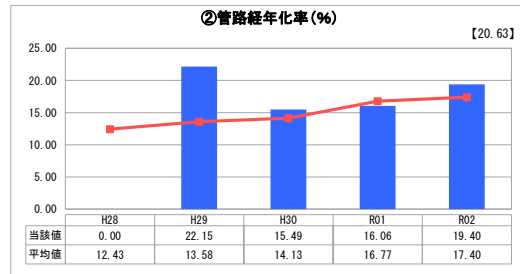
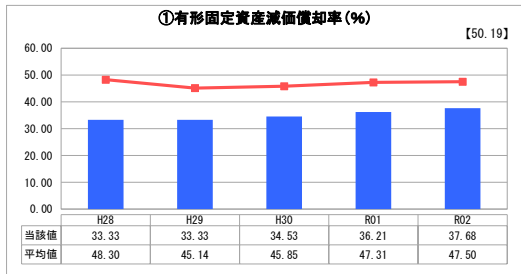
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,816	37.95	232.31
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
8,638	21.80	396.24

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度の水道事業の経営状況について、「①経常収支比率」の単年度収支の状況を表す「⑥給水原価」の増加や有収水量1m³当たりの費用単価を表す「⑧有収率」の減少に表れているとおり、単年度では黒字決算となりました。

また、前年度までの剰余金の繰越などにより、依然として良好な経営状態を保っています。

特に給水収益に対する企業債残高（借金残高）の割合を表す「④企業債残高対給水収益比率」は類似団体の平均値585.59%を大きく下回る162.34%と結果となり、借金が少ないことを表しています。

2. 老朽化の状況について

水道施設としての資産全体で考えた場合、「①有形固定資産減価償却率」のとおり、類似団体に比べて低い数値を保っています。この数値が高い場合、減価償却累計額の比率が高く、老朽施設が多いことを意味するため、今後注視していかねばならない指標です。

一方、管路の老朽化については、「②管路経年率」で表されるとおり、令和2年度においては類似団体平均値より若干高い水準となりました。今後、管路の更新事業に力を入れることで「③管路更新率」を上昇させ、「②管路経年率」を抑えることができますが、多くの財源を伴うものであることから、計画的な更新を行う必要があります。

全体総括

国見町水道事業は、経営状況は良好ですが、水道施設の老朽化は徐々に進みつつある状況ですので、今後も良好な経営状況を維持しつつ、計画的な施設の更新を行っていく必要があります。

今後の経営や施設更新以外で喫緊の課題となっているのが、全体の配水量に対する料金収入となった水の割合である「⑧有収率」です。

この数値が低い場合、漏水の発生により、料金徴収ができず、貴重な水資源を無駄にしている可能性が考えられますが、令和2年度は漏水発見に尽力した結果、前年度より有収率が4%上昇となりました。今後も漏水調査の強化や配水ブロックの確立などの対策を講じながら、有収率向上に努める必要があります。